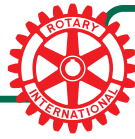




インスピレーションになろう

バリー・ラシン
2018-19年度国際ロータリー会長



No. 2

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“価値あるロータリーを”

- ①居心地のいいクラブ
- ②いつでもどこでも誰とでも親睦
- ③会員同士が刺激しあい、尊敬しあい、お互いの活力になろう
- ④ロータリーの価値を意識しよう

例会記録 (2018. 7. 13 (金)) 通算3,176回

◆開会

◆ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

電源開発株式会社

高砂火力発電所 富沢 康雄様

高砂青松ロータリークラブ

会長 大橋 卓司様

幹事 青柳 淳様

◆歓迎歌「松の緑」



高砂青松RC 大橋卓司会長・青柳 淳幹事

◆プログラム予定

7月20日 (金)	7月27日 (金)	8月3日 (金)	8月10日 (金)
クラブアッセンブリー ガバナー補佐訪問 ガバナー補佐 好崎泰州氏	クラブフォーラム 2018~2019 事業計画発表 各委員長	クラブフォーラム 2018~2019 事業計画発表 各委員長	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 ガバナー 矢野宗司氏

◆挨拶



高砂青松RC 会長 大橋卓司 様



高砂青松RC 幹事 青柳 淳 様

◆出席報告

本日7月13日 会員数43名 出席者29名 出席率 70.73%
前々回6月22日 会員数43名 修正出席者43名 出席率100.00%修正

◆MAKE-UP

脇谷 政孝会員	加古川平成RC	7月11日 (7月13日)
増田 章吾会員	e-CLUB	7月 6日 (7月 6日)
丸山 恵右会員	e-CLUB	7月10日 (7月 6日)
丸山 恵右会員	e-CLUB	7月10日 (7月13日)
有馬喜代貴会員	e-CLUB	7月11日 (7月13日)
桂田 重信会員	e-CLUB	7月12日 (7月13日)
鎌谷 雅彦会員	e-CLUB	7月12日 (7月 6日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

高砂青松RC大橋卓司会長……高砂青松RC会長を務めさせていただきます。坂井会長、後藤幹事はじめ高砂RCの皆様、1年間よろしくお願ひします。

高砂青松RC青柳 淳幹事……本日はお招き頂きありがとうございます。坂井会長、後藤幹事ははじめとする高砂RCの皆様、1年間よろしくお願ひします。

坂井 智代会長……高砂青松RC大橋会長様、青柳幹事様、本日はようこそお越し下さいました。1年間仲良くさせて下さい。

豊田 克義会員……配偶者誕生日祝を頂きありがとうございます。

堀 直樹会員……配偶者誕生日祝を頂きありがとうございます。

池本 和正会員……誕生日祝を頂きありがとうございます。

中野 哲郎会員……高砂青松RC大橋会長、青柳幹事ようこそ。1年間がんばって下さい。

大村 泰司会員……大橋青松RC会長、青柳幹事ようこそお越し下さいました。本年1年間よろしくお願ひします。

喜始すみ子会員……出席100%祝(14年)を頂きありがとうございます。

佐野 敏晴会員……高砂青松RC大橋会長、青柳幹事、1年間がんばって下さい。

森本 幸吉会員……高砂青松RC大橋会長、青柳幹事、1年間がんばって下さい。

新井 哲三会員……1週間遅くなりましたが、坂井丸の船出を祝して、1年間がんばって下さい。

◆幹事報告（3,176回）

〈例会変更のお知らせ〉

◎加古川中央ロータリークラブ

2018年7月26日（木）

→ 午後6時00分～（納涼例会のため）

於：人丸花壇

2018年8月16日（木）

→ 休会（お盆休みの為）

2018年9月13日（木）

→ 午後6時00分～（尚齒例会のため）

於：加古川プラザホテル1Fボールルーム



堀 直樹 副幹事

◆会長の時間

「平成30年7月豪雨」

先週末は大変な雨でした。皆さん大丈夫でしたか。気象庁は西日本を中心に降り続いた今回の記録的な大雨の名称を「平成30年7月豪雨」と発表しました。積乱雲が連なって豪雨をもたらす「線状降水帯」は6月28日～7月8日、西日本を中心に計61回発生し平成最悪の豪雨災害を招きました。高砂市では、7月7日（土）11時50分に「避難勧告」が法華山谷川以東の加古川流域に発令され、20,870世帯、48,017人の高砂市のほぼ半分の世帯が対象となりました。携帯アラームが鳴り響き、高砂市（防災ネットたかさご）からはひっきりなしにメールが届き、「流域の皆さんは、避難を開始してください。避難所まで避難することが困難な場合は、自宅の2階などに留まるなど、安全確保に努めてください」とありました。私の職場は診療時間内でしたが、避難勧告地区に住んでいるスタッフに帰宅を促しました。しかし実際にはスタッフも患者も誰も帰りませんでした。幸い川は決壊せず難を逃れ幸運でしたが、後で他府県の被害の様子をみて今回の行動が施設責任者の判断としてどうだったのか少しモヤモヤしています。日本中で本当に安心できる場所はないと感じます。今回のことで自然災害についてまた大きな教訓を得ることになりました。無事だった我々に今後できることを考えていきましょう。

ところで皆さんはこのような大規模災害が発生したきに派遣される医療チームがあることをご存じですか。災害時医療派遣チームには、DMAT（Disaster Medical Assistance Team）とJMAT（Japan Medical Association Team）の二つがあります。DMATとJMATは少し役割が違います。DMATは、国直轄の災害派遣医療チームで、災害発生48時間以内に被災現場を中心に超早期の災害医療を担います。一方で、JMATは、日本医師会から各都道府県医師会に要請された災害医療チームで、主に被災地医療の復旧サポートを担います。DMATもJMATもともに1995年におきた阪神淡路大震災の教訓



坂井智代 会長

をもとに2005年に発足しました。大規模災害発生時に最初からきちんと医療支援体制があれば救える命がたくさんあったという反省のもと災害死を少しでも減らす目的で活動をしています。私も「JMAT兵庫」の実務研修チームコースの受講経験があり、研修修了書ももらっています。DMATやJMATが被災地で活動するには多職種との連携がとても重要です。個々のスキルよりも災害地では迅速に効率的に過不足なく医療を提供することが求められますので、医師や看護婦、薬剤師や歯科医師、救命救急士や臨床検査技師、事務員が一つのチームとなり、同じ災害用言語と共通認識をもって情報を伝達しあい効率的に活動する必要があります。しかし残念ながらいくら準備をしても同じ災害はまったくありません。災害のたびに検証と反省点がでてきます。だからこそ、日頃から多職種が定期的集まり問題意識を共有しておくことが大事になります。有事の時こそ多職種の連携が大事です。ロータリークラブでは個々の会員の「個人的」向上を目指し集い活動をしますが、これからの日本、少子高齢化の成熟社会を乗り切るためには、職種を問わずオールジャパンで共通言語と意識をもって活動することが大事です。新たな時代に求められるロータリーの価値を考えるヒントがここにもあるように感じます。

◆本日のプログラム

「臨時総会」



坂井智代 会長



【会計】 豊田克義 会員



【会計監査】 大村泰司 会員



【予算案】 谷川こずえ 会員

会長 坂井 智代 幹事 後藤 宗久
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 豊田 克義
例会会場 高砂商工会議所2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/